

(一社) 宮城県建設業協会における

# 花いっぱいプロジェクトへの取組 とりくみ



新型コロナウイルス感染症の影響で、園芸作物では、特に花きの需要低迷が続いております。

県内建設産業界では、東日本大震災の復興完遂、そして、令和元年東日本台風における復旧事業の本格化、さらには、地域インフラを支える事業として、コロナ禍においても、三密対応等の徹底した感染防止対策を講じた上での工事施工を継続しており、多くの工事現場が各地に所在しています。



そのため、花き業界全体を支援するため、工事現場のイメージアップ活動として、花きを活用し消費拡大を行うとともに、現場周辺での魅力発信に努めます。

また、当協会の事務所である宮城県建設産業会館においても、事務所内外での花き設置により、需要喚起を図って参ります。

## 主な取組内容

- 会員企業が受注する工事現場での花き活用によるイメージアップ活動
- 会員企業事業所等での花き活用による消費拡大
- 宮城県建設産業会館 1階玄関・外周等への花き設置
- 建設関係機関への消費喚起活動
- 当協会HP、機関誌等での活動紹介による情報発信活動



協会事務所受付での展示



会館エントランス前スペースでの展示



R2.7.9 『日々草』、『コリウス』、『ケイトウ』、『トレニア』、『アングエロニア』 植栽の様子



実施主体：(一社)宮城県建設業協会並びに会員企業

実施時期：令和2年5月15日より会員企業への呼びかけ周知を開始